

株主の皆様へ

第43期第2四半期

(2014年4月1日～2014年9月30日)

HEART

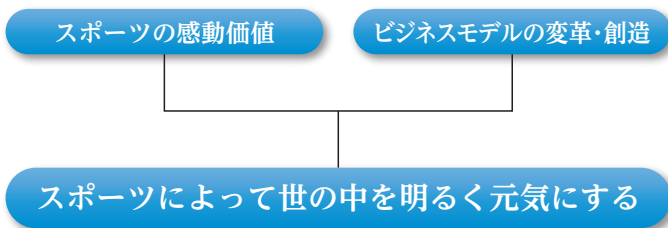


こころを動かすスポーツ。

私たちゼビオグループはスポーツの魅力と可能性を最大限に引き出し、伝え、表現し、発信し、それらをビジネスとしての価値に変えていきます。そしてスポーツ業界のビジネスモデルを変革し、スポーツのビジネスとしての価値を最大化していきます。その結果、スポーツの持続的発展に寄与し、地域社会への貢献、そして、身近にスポーツがある健康的で充実した豊かな人生の実現をお手伝いします。

ゼビオグループの宣言

- 私たちはスポーツの感動価値を最大化します。
- 私たちはスポーツ業界のビジネスモデルを変革・創造していきます。
- 私たちはスポーツによって世の中を明るく元気にしていきます。



ごあいさつ

2014年度前半の日本経済は、政府による経済政策の効果が下支えする中、国内景気の回復基調がうかがえつつあります。しかし、消費増税や円安を背景とした実質所得の減少や天候不順の影響もあり、小売業界におきましては依然として厳しい環境にあります。

このような状況下当社グループは、「コアビジネスの成長促進」を主要施策として取り組んでおります。今後シェア拡大が見込まれる西日本を中心に積極的に出店を継続しております。また、人口問題に対応した「ゼビオスポーツエクスプレス」の出店を始めとした新たな業態開発を推進してまいります。

海外事業については、「ゴルフパートナー」をシンガポールとマレーシアに出店いたしました。当地では、これまで中古クラブを扱う店舗が少なかったこともあり、現地の方々にご好評をいただいております。引き続き東南アジア地域の可能性をグループを挙げて追求していきます。

スポーツ業界のリーディングカンパニーである我々に求められている役割は、スポーツ用品の販売に留まらず、スポーツを通じて少しでも多くの方々に感動体験していただく環境を提供することで、社会に貢献していくことだと考えます。これが我々の役目であり、その責務を果たすことが、当社のみならず、業界全体の発展につながると確信しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

業績について

当第2四半期連結累計期間は、コアビジネスの成長促進、需要喚起への取り組み、中長期的な成長に向けた取り組みを行ってまいりました。

コアビジネスの成長促進については、未出店エリアを中心とした新規出店やスクラップ&ビルド、業態変更を行い、2014年9月末時点におけるグループの総店舗数は、651店舗となりました。

需要喚起への取り組みとしてスーパースポーツゼビオ並びにヴィクトリアでは、サッカーワールドカップの開催に合わせた関連商品の販売や、フィッティング機材を活用してお客様に合ったゴルフクラブをお勧めするなど、顧客ニーズに合わせた販売に注力しました。またゴルフパートナーでは、新たにゴルフを始める方にクラブを1本プレゼントする企画を展開し、ゴルフ人口の将来的な減少への対策として、需要喚起策を講じました。

中長期的な成長に向けた取り組みにつきましては、シンガポールの海外事業統括会社が新たに6店舗の出店を行いました。その結果、2014年9月末時点においては、シンガポール15店、マレーシア9店の直営店運営並びにマレーシア他6か国で26店舗のフランチャイズ運営を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,032億59百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益42億22百万円（前年同期比29.2%減）、経常利益44億16百万円（前年同期比28.5%減）、四半期純利益23億49百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

部門別売上高の推移

〔主な部門の状況〕

<一般競技スポーツ（アスレチックスポーツ）・シューズ部門>
サッカーではワールドカップの開催により、代表レプリカユニフォームなどのファンアイテムの特需に加え、人気ブランドの新作サッカーシューズが好調に推移いたしました。

シューズ部門では、ランニングブームと、フィッティングの取り組みを強化したことにより、ランニングシューズの販売が堅調に推移し、売上が好調に推移いたしました。

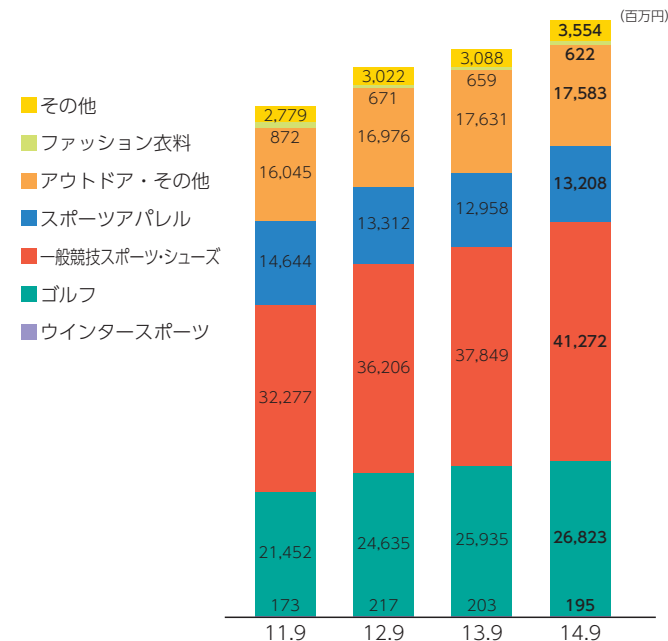
<ゴルフ用品・用具部門>

ゴルフ用品・用具部門においては、消費増税前の駆け込み需要の反動減の影響を大きく受けたものの、中古クラブの販売や海外におけるゴルフ用品の販売は好調に推移いたしました。レディース層の獲得にも力を入れ、女性向け商品の品揃えを拡大し、好調に推移いたしました。

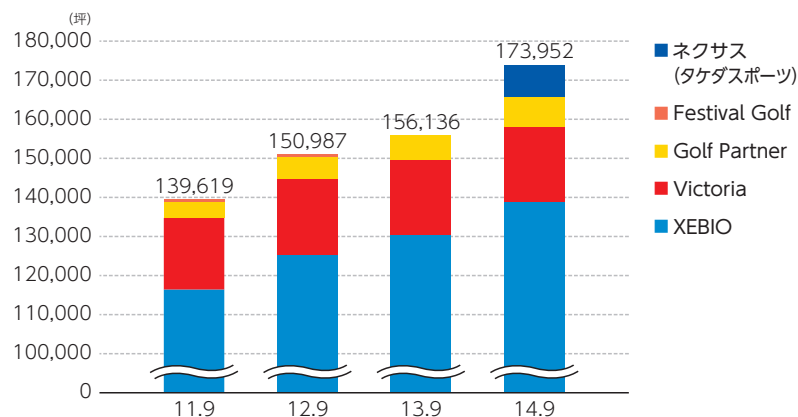
<アウトドア・その他部門>

キャンプやマリンなどのレジャー用品では、今年度の記録的な天候不順により、夏のピーク期間にレジャー機会が減少したことで、低調に推移いたしました。

トレッキングは、商品単価が高いシューズの売上が、消費増税前の駆け込み需要の反動減に加え、売上拡大期間に天候不順が重なり、伸び悩みました。



売場面積の推移



※Golf PartnerとFestival Golfの合併に伴い、14年9月期は両社の合計値を記載しております。

通期の見通し

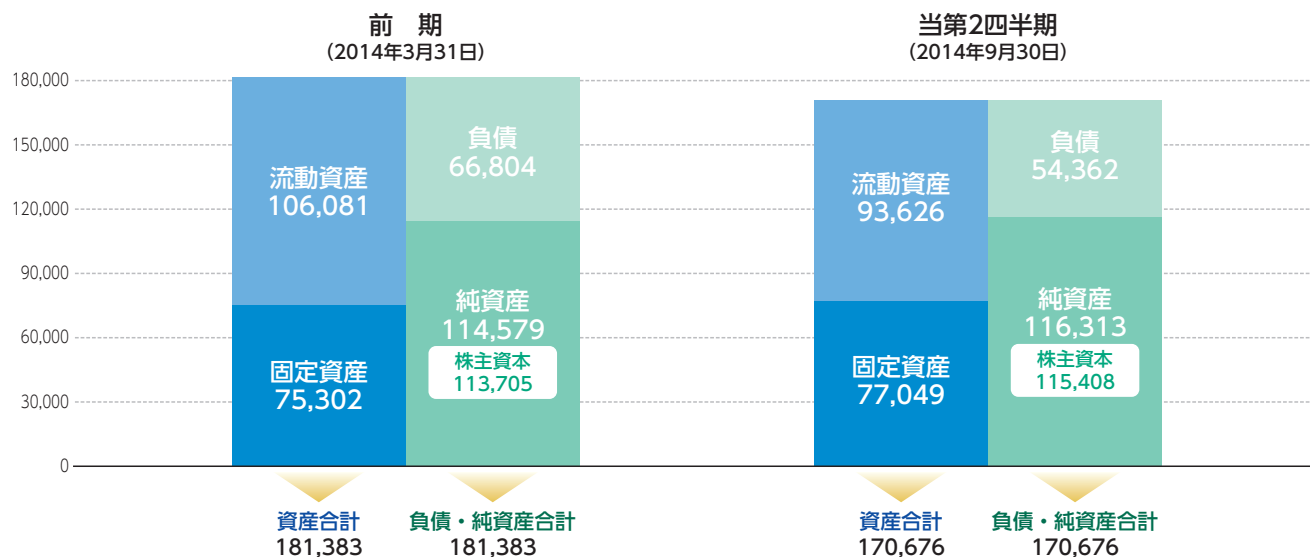
売上高 **220,072**百万円

経常利益 **10,452**百万円

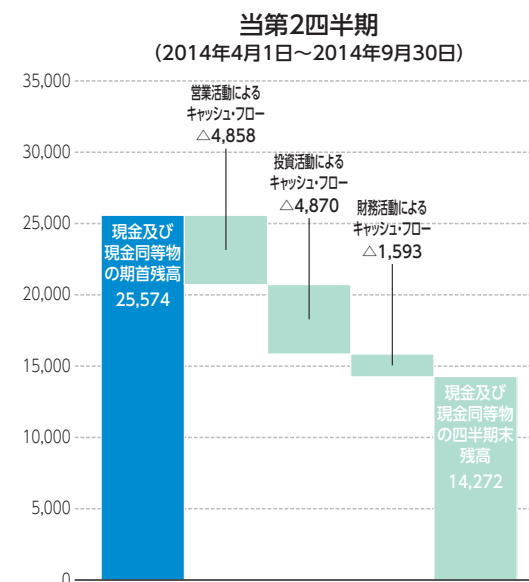
当期純利益 **5,481**百万円

財務情報

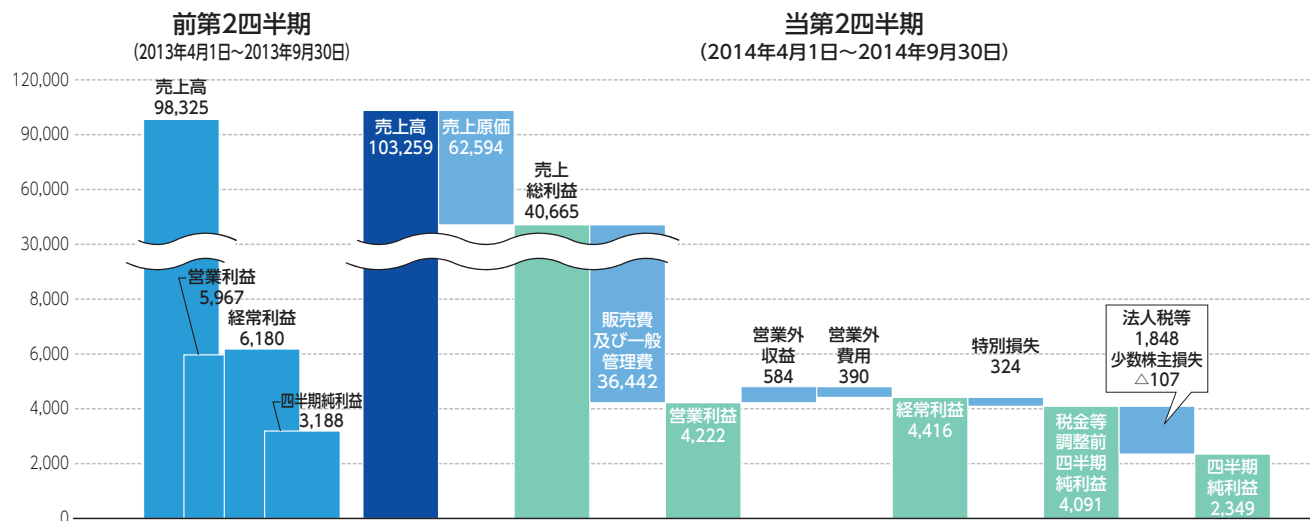
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、48億58百万円の支出となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を40億91百万円計上したこと、仕入債務の減少による資金の支出額が104億99百万円、たな卸資産の減少による資金の増加額が11億99百万円、売上債権の減少による資金の増加額が11億28百万円、法人税等の支払額が33億51百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、48億70百万円の支出となりました。主な要因は、店舗の出店に伴う有形固定資産の取得による支出が32億32百万円などです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億93百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額が7億87百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が4億72百万円などです。

当第2四半期の新規出店

国内においては西日本エリアを中心とした新規出店を継続的に行い、海外を含めスポーツゼビオ7店、及びゴルフパートナー12店など計42店舗を出店する一方、7店を閉店いたしました。

●2014年4月

スーパースポーツゼビオ 紫波店 (ヴィクトリアゴルフ併設)
 スーパースポーツゼビオ 名古屋砂田橋店 (ヴィクトリアゴルフ、ゴルフパートナー、エクスタイルヴィジョン併設)
 ヴィクトリアゴルフ 東急あざみ野ゴルフガーデン店
 ゴルフパートナー 阪神ゴルフ大正店
 ゴルフパートナー タケダスポーツ 秋田店
 ゴルフパートナー タケダスポーツ 大館店
 ダブルイーグル ロッテ葛西ゴルフ店
 ゴルフパートナー 東川口けやき通り店
 ネクサス 花巻店
 ネクサス 水沢店
 ネクサス 一関店
 ネクサス 南方店
 ネクサス 横手店
 ネクサス イオンタウン酒田店
 トランスビュー オーチャードゲートウェイ店
 スーパースポーツゼビオ 成都双楠店

●2014年5月

ゴルフパートナー タケダスポーツ 弘前店
 トランスビュー アベニューK店

●2014年6月

スーパースポーツゼビオ 岡山新保店 (ヴィクトリアゴルフ、エクスタイルヴィジョン併設)
 スーパースポーツゼビオ 松江東津田店 (ヴィクトリアゴルフ併設)
 ネクスト アルカキット 錦糸町店
 ゴルフパートナー R23鈴鹿店

●2014年7月

ネクスト 原宿店
 トランスビュー ジュロンCC (ドライビングレンジ) 店
 ゴルフパートナー ファーイーストショッピングセンター店
 エルプレス 御茶ノ水店ANNEX
 スーパースポーツゼビオ 成都高新店

●2014年8月

ゴルフパートナー 高松屋島西店
 トランスビュー ジュロンCC (クラブハウス) 店

●2014年9月

スーパースポーツゼビオ イオンタウン黒崎店 (ヴィクトリアゴルフ、エクスタイルヴィジョン併設)
 スポーツ&ゴルフパートナー R17本庄店
 ゴルフパートナー 燕三条インドア練習場店
 ゴルフパートナー クラナジャヤ店



スーパースポーツゼビオ 名古屋砂田橋店



ネクスト 原宿店



スーパースポーツゼビオ イオンタウン黒崎店



ゴルフパートナー 名古屋砂田橋店



スーパースポーツゼビオ 岡山新保店



ヴィクトリアゴルフ 東急あざみ野ゴルフガーデン店



スーパースポーツゼビオ 松江東津田店



スーパースポーツゼビオ 成都高新店



ゴルフパートナー クラナジャヤ店

業態変更

従来から積極的に実施している業態変更を、タケダスポーツからスーパースポーツゼビオへ1店、ゼビオスポーツ並びにスーパースポーツゼビオからネクサスへ6店、ヴィクトリアからエルプレスへ1店行いました。



スーパースポーツゼビオ 紫波店



ネクサス 花巻店



エルプレス 御茶ノ水店ANNEX

プライベートブランド

従来から取り扱っております自社開発商品の「DRY PLUS」に、インナーのカラーが透けにくい機能を付加した「透けにくい白」や、遮熱効果機能を高めた「SHINE BLOCK」を新たに開発投入しました。



社会貢献活動

●スポーツを通じた子供たちへの教育支援 体験型教育プログラム「スチューデント・シティ」への協力

子供たちへの教育の一環として、ゼビオでは体験型教育プログラムを行う「スチューデント・シティ」(公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本提供)へ協力しております。本取り組みは、小学校5・6年生を対象に職業体験を実施し、ゼビオでは子供たちにスポーツナビゲーターの仕事を体験いただいております。指導は近隣店舗のスポーツナビゲーターが直接行います。店舗業務の体験を通じて、経済の仕組み、サービスの心構え、小売りの楽しさなどを学んでいただいております。



本年は、5月にいわき市、9月には仙台市でも取り組みを開始し、上期で全29回2,777名の子供たちに参加いただきました。

実施場所

品川	(4月~9月)	12回	1,234名
いわき	(5月~9月)	15回	1,362名
仙台	(9月のみ)	2回	181名

●広島県土砂災害に対するレジ前募金を実施

2014年8月広島県で発生した土砂災害に対して、全国のスーパースポーツゼビオ及びゼビオスポーツエクスプレスにてレジ前募金を実施いたしました。集まった義援金は日本赤十字社広島県支部を通じて寄付いたしました。

実施期間 2014年8月30日~9月30日
設置店舗 全国のスーパースポーツゼビオ
ゼビオスポーツエクスプレス
寄付先 日本赤十字社広島県支部
寄付額 625,706円



【ゼビオグループコーポレートサイトCSR活動報告】

ホームページ <http://www.xebio.co.jp/company/social/02/csr/>
Facebook <https://www.facebook.com/xebiocrs>

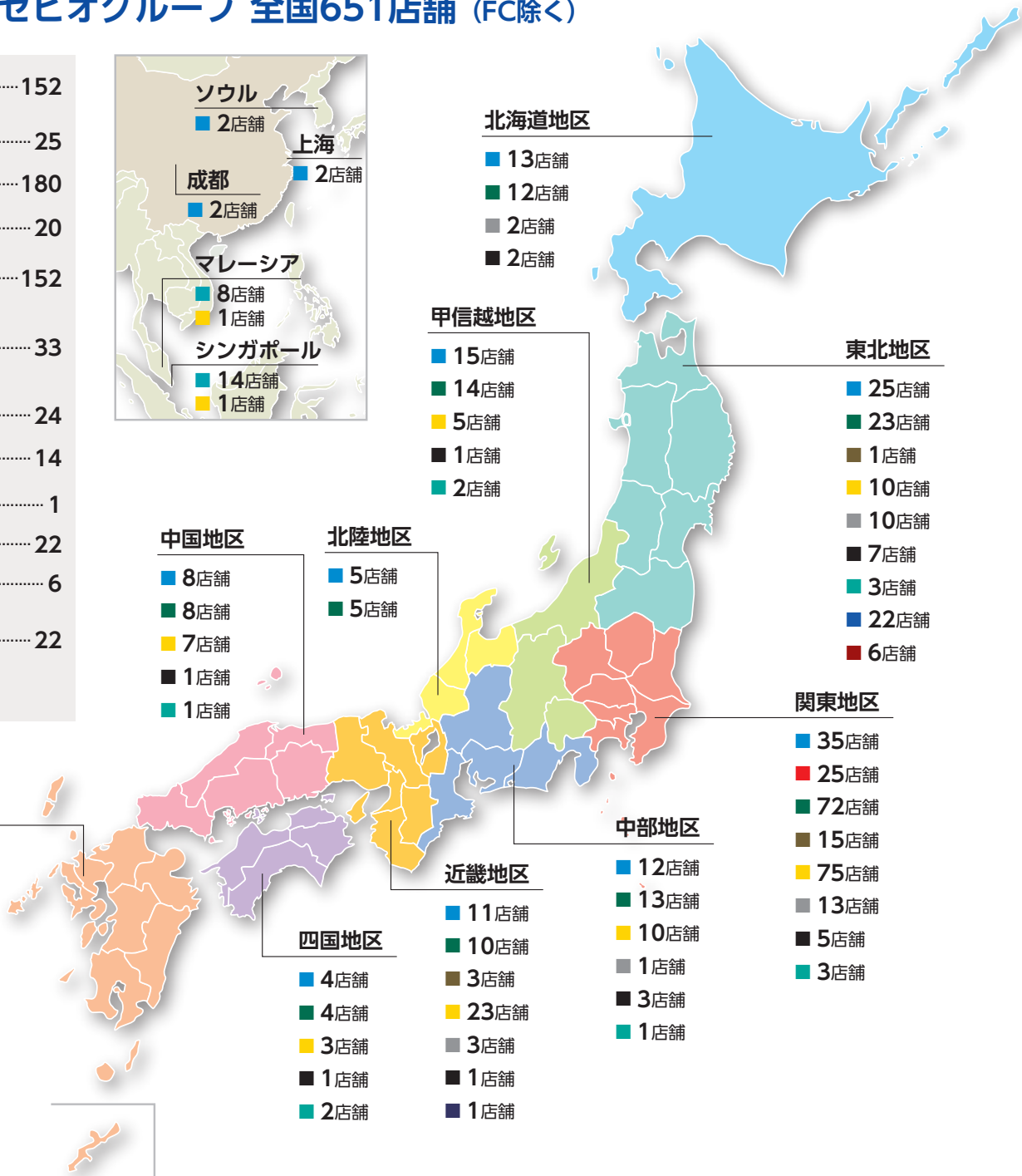
ゼビオグループ 全国651店舗 (FC除く)

	あらゆるスポーツ用品・用具を取り揃えた大型総合スポーツ専門店
	地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店
	世界36か国に700店以上を展開するイギリス最大のSPAブランド
	カジュアルスポーツウェアショップ
	度付レンズ対応可能なスポーツサングラスを扱うスポーツメカネ専門店
	アスリートのコンディショニングをサポートするスポーツドラッグストア
	トレーニング機器の展示販売
	都市型オールスポーツショップ
	幅広い方に対応できる商品ラインアップとサービスのゴルフ専門店
	ファッション感覚にあふれたアウトドア専門店
	中古ゴルフ業界No.1のネットワーク、55万本の在庫からぴったりの1本を
	中古ゴルフ業界のパイオニア、豊富な在庫と安心価格
	北東北で地域特性に合わせた品揃えとサービスを展開する総合スポーツ店
	東南アジアにおけるゴルフ用品専門店

	152
	25
	180
	20
	152
	33
	24
	24
	14
	1
	22
	6
	22

※他FC店除く

2014年9月30日現在



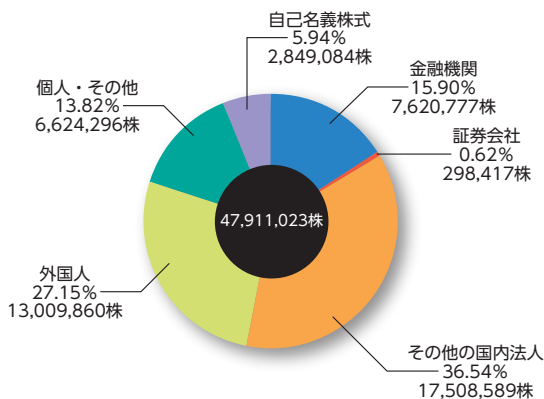
株式状況 (2014年9月30日現在)

- (1) 発行可能株式総数 135,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 47,911,023株
 (3) 株主数 11,058名
 (4) 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
有限会社サンビック	8,252,605	18.3
公益財団法人諸橋近代美術館	4,500,000	10.0
有限会社ティー・ティー・シー	4,121,466	9.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,862,800	4.1
諸橋輝子	1,392,364	3.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,242,400	2.7
諸橋友良	1,173,050	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	961,800	2.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	913,100	2.0
諸橋寛子	900,897	2.0

(注) 1. 当社は、自己株式2,849,084株を保有しており、上記の大株主から除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2. 信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。

所有者別株式分布状況



今後もコンテンツの充実や利便性の向上を図ってまいります。ぜひご覧ください。



<http://www1.xebio.co.jp/>

会社概要及び役員

商号 ゼビオ株式会社 (XEBIO CO.,LTD.)
 本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7番35号
 電話 024-938-1111 (代表)
 創業 昭和37年8月
 会社設立 昭和48年7月5日
 事業内容 スポーツ用品・用具、紳士、婦人、子供服の販売
 従業員数 997名 (2014年9月30日現在)
 ※従業員数には、パートタイマー及びアルバイト4,329名 (1日実働8時間換算)は含んでおりません

■取締役及び監査役 (2014年9月30日現在)

役職	氏名	役職	氏名
代表取締役社長	諸橋友良	常勤監査役	加藤則宏
取締役	北沢猛	監査役*2	小谷野幹雄
取締役*1	谷代正毅	監査役*2	佐々木庸雄
取締役*1	石綿学		
取締役*1	山田潤二		

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります
 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります

■執行役員 (2014年9月30日現在)

担当	氏名	担当	氏名
常務執行役員	大山雄彦	執行役員	高橋保
常務執行役員	大島康夫	執行役員	木原正剛
常務執行役員	石塚晃一	執行役員	加藤正秀
常務執行役員	中村和彦	執行役員	江川正規
常務執行役員	荒木裕一郎	執行役員	本多浩行
常務執行役員	石田純哉	執行役員	内海俊一
常務執行役員	中村考昭	執行役員	猪股祐一
常務執行役員	Tan Chang Chuan	執行役員	原貴弘
		執行役員	星英人
		執行役員	近藤明子

株主様御優待

当社では、株主の皆様へ感謝の微意を表す意味で毎年9月30日及び3月31日現在の100株以上保有の株主の皆様を対象に「株主特別御優待券」を贈呈させていただいております。この「株主特別御優待券」は、当社各店でご利用の場合、お買物額の10%もしくは20%を割引させていただくものです。「株主特別御優待券」は、ゼビオグループ各店舗でお使いいただけます。

100株以上保有する株主様	20%割引券 1枚 10%割引券 4枚
1,000株以上保有する株主様	20%割引券 2枚 10%割引券 8枚

お買物額



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月末日まで
 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月末日
 中間配当金 毎年9月末日
 定時株主総会 毎年6月開催
 公告方法 電子公告 (http://www1.xebio.co.jp/)ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
 株主名簿管理人 東京証券代行株式会社
 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
 郵便物送付先 (連絡先) 〒168-8522 東京都杉並区泉二丁目8番4号
 東京証券代行株式会社 事務センター
 ☎0120-49-7009
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

●未支払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

●「配当金計算書」について

配当金を銀行等口座振込 (株式数比例配分方式を除きます。) または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。

配当の状況

	1株あたりの配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2013年3月期	17円50銭	17円50銭	35円00銭
2014年3月期	17円50銭	17円50銭	35円00銭
2015年3月期 (予想)	17円50銭	17円50銭	35円00銭

(注) 2013年3月期の配当金につきましては、記念配当5円00銭 (第2四半期末2円50銭、期末2円50銭) を含んでおります。



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

